

オランダ自転車商談会 (FietsVAK2011) 参観報告及び 2010 年オランダ電動アシスト自転車市況

1. オランダ自転車商談会 (FietsVAK2011)

オランダのロスマレンにて、国内販売業者向け自転車商談会が 2011 年 1 月 23 日(日)～25 日(火)の 3 日間にわたり開催された。

【FietsVAK2011】

主催： rai vereniging, AMSTERDAM RAI
会場： AUTOTRON ROSMALEN
会期： 2011 年 1 月 23 日(日)～25 日(火) 10:00～18:00
使用ホール： EXPODOME 及び EVENTRON
入場者数： 6,594 人(昨年 5,945 人)
出展社数： 134 社(昨年 117 社)



会場入り口付近



EXPODOME ホールの様子

同展は主にシティ車、トレッキング車及び電動アシスト自転車が出展物の中心である。昨年、展示面積を EVENTRON ホールにも拡大したが、本年も同様の展示規模を維持し、出展社は 134 社と前年比 15%増、来場者は 6,594 人と同比約 11%増となった。近年、オランダ市場で一般車販売が低迷する中でも電動アシスト自転車販売は堅調であり、それに呼応するかのよう同展も出展社と来場者が年々増加してきた。

主な出展ブランドでは、アクセルグループは、昨年 10 月の「Bike Motion Benelux」に出展しなかったスパルタが大ブースを構え、電動アシスト自転車やシティ車を数多く揃えた。バタバスも大きなブースにシティ車、トレッキング車及び電動アシスト自転車を中心に出展し、コガは比較的高価格帯の電動アシスト自転車やトレッキング車を展示した。スポーツ車は、MTB 中心のゴースト、BMX のレッドライン等、同グループの出展内容と規模は年々充実してきている。

また、国内有力メーカーのカゼレも昨年同様、EVENTRON ホールに大ブースを構え、主要 3

車種を中心に展示していた。その他、ユニオン、ジャイアント及び MONTEGO 等、様々な完成車の出展社がみられた。今年はトレックとキャノンデールが電動アシスト自転車を中心に新たに参加し、更に電動自転車や電動スクーターを出展する新興ブランドも散見された。オランダ自転車市場で電動アシスト自転車がけん引役を務める間は、同展が同車種の出展場所として重要視される可能性は高い。



バタバス



カゼレ



トレック



キャノンデール

全般的な傾向として、昨年に続き婦人車や子供車を中心に白やパステルカラー等の軽快な印象のフレームカラーの自転車が多くみられた。今回、展示会表彰を受けたバタバスの電動アシスト自転車「BUB Easy」は、小売価格 1,300 ユーロ (145,600 円) という従来の国内ブランド品より低い価格帯であった。銀、黒及び紺等の配色が中心で、極太パイプの U 形フレームや充実した装備品等により、やや無機質で重厚な印象の従来の自転車とは若干異なるものが増えつつある。各ブースでは白いフレームの電動アシスト自転車が見られ、前カゴ、握りやサドルなどで茶色の部品（場合によって皮や木製品）を付けた自転車の展示も増加傾向にある。依然としてダッチバイクなどの実用的な自転車が好まれる一方で、各メーカーは消費者の好みの多様化に合わせ、独自の個性を出そうとしている。これは同国だけでなく他の欧州主要市場も同様であり、比較的構造がシンプルで廉価なシティ車では、他社と差別化を図り付加価値を高めるためにデザイン重視の徴候も顕著になりつつある。



電動アシスト自転車（左：バタバス「BUB Easy」、右：カゼレ）



白いシティ車（左：Johnny Loco、右：カゼレ）

部品や付属品関係では、シマノをはじめ、リムのリジダ、タイヤではシュワルベ、コンチネンタル及び CST、サドルのセラ・ロイヤル、鍵の AXA、ABUS 等、昨年同様の顔ぶれであった。品目では同国市場で需要の高いカゴ・バック類や、盗難に備える頑丈な鍵、照明及びヘルメット等の充実が目立った。また、小売店主向けに店舗用の工具セットやそれらのための店舗用の什器等も見られた。

当地ロスマレンでの開催は今年で 5 回目となったが、年々出展社が増え会場が手狭になったために、より利便性が高く多くの人々が集まりやすい場所で開催すべく、来年はアムステルダム・ライに場所を戻し、2012 年 1 月 29 日～31 日の開催予定である。

2. オランダの電動アシスト自転車市況

2010 年の市況について、会場でオランダ車両工業会 (RAI) 担当者に確認したところ、2010 年電動アシスト自転車の販売台数は 16 万台に達した。(2009 年は 15 万台)

同車種の自転車小売専門店の平均販売価格は前年同様高額であるものの、地元有力メーカー車で従来より低めの価格設定の商品が出始めている。

2010 年は年初の厳冬、夏季の長雨などの天候不順により、年販売台数は前年より落ち込んだ。しかし、高額な電動アシスト自転車販売の増加により、全業態の新車販売の平均価格は

前年より上昇し 757 ユーロ (84,784 円) となり、自転車小売専門店の同価格も前年より上昇し 916 ユーロ (102,592 円) にも達した。

2011 年の見込みについては、電動アシスト自転車販売が好調を維持し、一般車の販売不振をカバーできるとの期待を述べていた。



パステルカラーの自転車（左：スパルタ、右：MONTEGO）



個性を出す努力をする各社（左：スパルタ、右：ユニオン）

以上
(デュッセルドルフ事務所)